

バイエルのネズミとり
〈クマリン系殺そ剤〉

エンドックス®

医薬部外品



Bayer Environmental Science

ネズミの生活環、種類等

雌は年間に5回から6回産子する。自然界では3月～6月が最も多く、盛夏や真冬は少ないようだ。ネズミの産子能力は高いが、しかし、実際には産子された個体は各種の要因で約80%が死亡しており、1年も生存する個体は5%で、2年も3年も生存し得る個体は1%にも満たないと言われている。

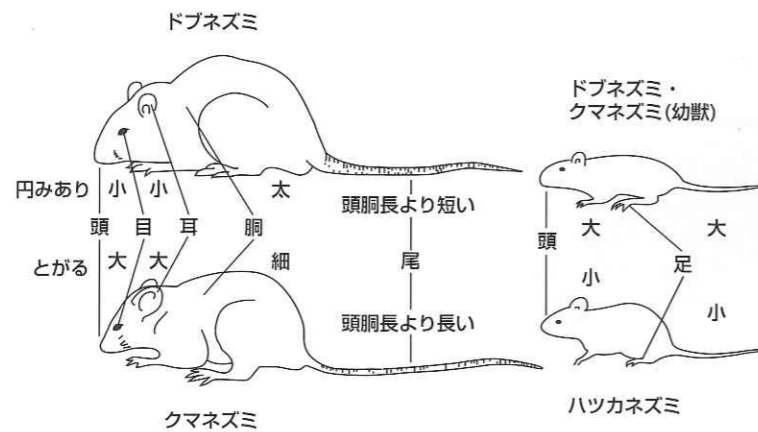
ネズミの平均的一生



成獣の外部計測値*

種類	頭胴長 [mm]	尾長 [mm]	尾率**	後足長 [mm]	耳長 [mm]
クマネズミ	115~235	126~258	94~141	26~48	16~27
ドブネズミ	220~260	175~220	71~105	37~46	18~22
ハツカネズミ	57~92	42~80	60~114	13~17	10~14

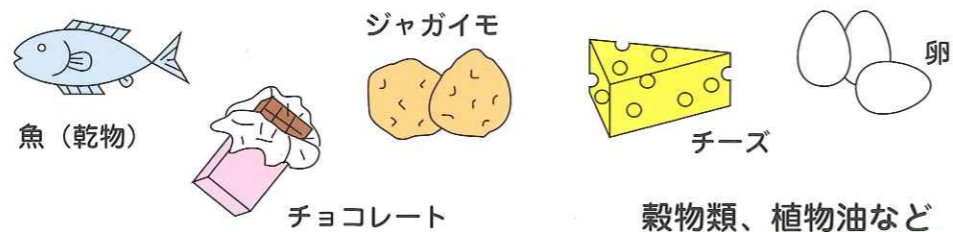
* : 今泉(1960)、浜島(1964)、浜島ほか(1967)より作成。
** : 頭胴長(鼻先から尾のつけ根まで)を100としたときの尾の長さ。



ネズミの生態

● 食物の嗜好性

生棲する場所により異なり、決定的なものはない。ことに、巣の中に運んだ食物等は常に新しいものから食べるので、古いものはいつでも残される。毒餌の効果을期待する場合は環境から、食物をできるだけ完全になくし、少量ずつ投与することが望ましい。



● 摂食状態

ネズミは食物を摂る場合、警戒心旺盛で新しい物については異物反応(恐怖、嫌厭の行動)を示す。しかし、その反面生活環境に順化しやすく生活の場所で一度慣れると警戒心がなくなる。

● 摂食場所

普通は巣の中に運んで食べるが、野外の物陰や安全な場所に運んで食べることもある。

● 摂食量

1回の量は少なく、1日中常に食べている状態である。1日に必要とする量は体重の1/4位と言われている。実験的に絶食させた場合、3日~4日で死亡する。

ネズミによる被害

被害の内容	件数	(%)
(1) 経済的被害(96件、50.8%)		
① 食料品などに対するかじり	66	34.9
② 毛皮製品などに対するかじり	12	6.3
③ 電気機器などに対するかじり	12	6.3
④ コンピュータに対するかじり	3	1.6
⑤ 電気系統の短絡事故	3	1.6
(2) 衛生的被害(39件、20.6%)		
① 糞や尿による汚染	29	15.3
② 死鼠による問題	7	3.7
③ イエダニによる刺咬	2	1.1
④ 食中毒の発生	1	0.5
(3) 信用的(精神的)被害(54件、28.6%)		
① ねずみや齧り跡が見え、店の印象低下	43	22.8
② 騒音	11	5.8
合計	189	100.0

<食中毒例/サルモネラ>

- 1936年:浜松市の大福餅中毒事件(発病2201名、死亡45名、鼠の糞中のSEによる汚染)。
- 1989年:金内/都市のレストランでクマネズミを捕獲。(10匹陽性/557匹(1.8%))。神奈川県屠畜場6匹陽性/26匹(23.1%)。
- 1954~60年:札幌の養鶏場(ドブネズミ)(10匹陽性/134匹(7.4%))。養鶏場のドブネズミから検出されるサルモネラとその養鶏場の卵から検出されるサルモネラがよく一致。

ネズミの防除

I. 薬剤の使用方法

1. 粉のままの使い方

エンドックスをネズミの通路、かくれ場に5~10cm幅に下地が見えない程度まいて下さい。また、ネズミの穴(出入口)、1穴に対して10g~30gを吹き込んで下さい。散粉したエンドックスは少なくとも5日以上そのままの状態にして置き、もし少なくなっている場合はまきたして下さい。

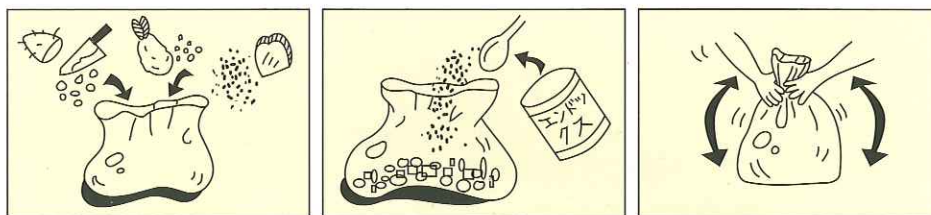
2. 簡単に効果のある毒餌の作り方

① 準備するもの

	一般家庭の基準量
殺そ剤 エンドックス	20g (茶さじ約5杯)
生のサツマイモを1cm角に切ったもの	200個
乾燥したパン粉	約5握り
天ぷらかす(無い場合はサラダオイル少量)	約3握り
厚目のビニール袋(新聞の半分位の大きさ)	1枚

② 作り方

- 1cm角に切った生のサツマイモとパン粉、天ぷらかすを全部ビニール袋に入れ、袋の口をしっかり握り、上下に15～20回振って下さい。
- その上にエンドックスを加えて下さい。
- もう一度15～20回上下に振ってでき上がり。



③ 仕掛け方

- できた毒餌を手袋で1握りつつ、発泡スチロールの皿などに入れ、ネズミの出入りする物かげなどに5～6カ所置いて下さい。手袋は後でよく洗っておいて下さい。残った毒餌は2日目以降の補充用です。仕掛けた毒餌や補充用の毒餌をペットに食べられないよう充分注意して下さい。カビが生えたら面倒でももう一度作り直して下さい。
- 2日目、仕掛けた場所の中で、食べていない所の毒餌は片付け、食べた所の毒餌をまた元の1握り位にしておいて下さい。
- 5～6日続けて食べさせないと効果がありませんから、餌が減らなくなるまで続けて下さい。



II. ネズミの防除指標 (一例)

7日間に捕獲されたネズミの数		
評価	ネズミ指数	ネズミの数
良い	0	0
少ない	1	1～10
中程度	2	11～25
多い	3	>25

ネズミ指数＝7日間に12の罠に掛かったネズミの総数。
もし罠の数が少ないか多い場合には、以下の式に基づいて、7日以上もしくは7日未満の期間に捕えたネズミの数とする。

$$\frac{\text{全罠に掛かったネズミの総数}}{\text{機能していた罠の数}} \div \text{日数} \times 12 \times 7$$

代理店名

®は登録商標

バイエルクロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部
〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
Tel. (03) 6266-7368
www.bayercropscience.co.jp

(EL2-11) 17.2.MATSUO 印刷：平成17年9月